

2024年度

教育学会
学生・教員連絡会



期日： 2025年2月19日

時間： 10:00

場所： 板橋キャンパス 3号館0101教室(法廷教室)

目次

○ 2024年度学生・教員連絡会(冬)プログラム

- 第1号議案 2024年度活動報告及び決算報告
教育学会運営委員会
教育学科後援団体 大合宿
教育学科後援団体 球技
教育学科後援団体 コンサート
教育学科共催行事実行委員会
- 第2号議案 2025年度活動計画及び予算案
教育学会運営委員会
教育学科後援団体 大合宿
教育学科後援団体 球技
教育学科後援団体 コンサート
教育学科共催行事実行委員会
- 第3号議案 機関紙『緑育』の発行形態変更の提案
- 第4号議案 学会則改正の提案
- 第5号議案 2024年度秋季定例会開催報告
- 第6号議案 2024年度ゼミ説明会開催報告
- 第7号議案 2025年度春季定例会開催申請
- 教育学会則

教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき
学生・教員連絡会を開催いたします。

2024年度 教育学会運営委員会活動報告

団体名	教育学会運営委員会	
委員長	学籍番号	22114005
	氏名	杉澤 主税
副委員長	学籍番号	22114032
	氏名	弓削 真波
	学籍番号	23114078
	氏名	猪飼 大佳

構成員	3年生 10 名		2年生 10 名		1年生 12 名	
	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
3A	發知 里世音	2A	浅野 維吹	1A	齊藤 暮郎	
3A	弓削 真波	2A	倉持 蓮	1A	高野 颯平	
3B	木滝 大夢	2B	北岡 大樹	1A	東條 聖	
3C	遠矢 春乃	2C	遠藤 雅也	1B	矢治 多紀音	
3D	青木 栄斗	2C	猪飼 大佳	1C	佐藤 早矢翔	
3D	小川 祐哉	2D	近藤 亜岐	1D	渡邊 伶歩	
3D	杉澤 主税	2D	東 龍亮	1D	伊藤 沙菜	
3D	富田 実乃梨	2D	渡邊 心	1D	大塚 美穂	
3E	種田 貴志	2E	北島 花	1D	藤尾 陸翔	
3F	山口 直	2F	吉田 真菜	1E	佐藤 稔己	
				1F	留目 蒼	
				1F	篠宮 梨心	
						計 32 名

活動内容

会議期間	2024 年 5 月 ~ 2025 年 5 月
実施場所	東松山キャンパス 60 周年記念講堂・2号館教室・8号館教室

活動内容報告	<p>【教育学会総会】開催日:2024年5月14日(火) 運営委員会、後援団体(共催実行委員会含む)、非常設後援団体の令和5年度活動報告・決算報告ならびに、令和5年度運営委員会と会計監査の解任を行った。また、令和6年度運営委員会と会計監査、活動申請案・予算案の申請を行い、学会員の承認を得た。</p> <p>【春季定例会】開催日:2024年5月14日(火) 教育学会則第3条、4条に基づき、「私が思う私。あなたから見た私。～他を知ること」というテーマで開催した。委員の発表や様々な体験活動を通して、他を知ることについて実践に基づいた学びの時間にすることができた。</p> <p>【ゼミ説明会】開催日:2024年10月21日(月) ゼミ選択をよりよいものにしてもらうため、ゼミに所属する学生の協力を得て、東松山キャンパス60周年記念講堂にて2年生を対象としたゼミの説明会を行った。</p> <p>【秋季定例会】開催日:2024年10月16日(水) 教育学会則第3条、4条に基づき、杉山文野氏を迎えて、「LGBTQ+～広げよう虹色の輪を～」というテーマで講演会を開いた。講演を通して、LGBTQについて考えることができ、学びを深める時間になった。</p> <p>【機関誌・機関紙の発行】開催日:2024年5月～2024年10月(学会誌のみ3月予定) 教育学会則第3条、4条に基づき、機関誌「学会誌」は年に1回、機関紙「緑育」は年に2回発行した。 ※および、緑育はDBmanabaを活用したオンラインでの配布</p> <p>備考 上記の企画実現・諸問題解決のため、通じて毎週月曜日に対面形式で会議を行った。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習の場の提供 →定例会等の企画を通して、一方的な活動ではない学会員同士が主体的に参加できる場を提供することができた。こういった実践的な場が生まれたことで、学会員がより密接に将来へと向き合うきっかけを作ることができた。 ・次世代へつなぐ働きかけ →ゼミ説明会等を通して、次の世代に教育学科の魅力を伝えていく活動を学会員同士で行うことができた。ゼミ生である学生からの発信により、学科生の間でゼミの情報共有ができ、より分かりやすい導入ができる場となつた。

反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・緑育発行の滞り →内容の再検討や目的の擦り合わせ等を行う中で定期的な配信を行うことができなかつた。 <p>[対策]</p> <p>→発行目的と発行時期、提供方法を再検討し、緑育を学会員にとって意義のあるものにするために次年度へつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会行事での参加者数の少なさ →総会や春季定例会、秋季定例会など例年より欠席者数の少なさが目立つた。 <p>[対策]</p> <p>→開会時間の再検討、直接学生へ学会活動に参加することの目的と意義を伝える機会を改めて作るなど、学会員視点で課題を見つめ直し、対策を実践していく。</p>
総括	<p>今年度も無事全て対面形式で活動を実施することができた。</p> <p>そういった活動環境や学会活動を通して、講師や行事主催者から参加者への一方的な取り組みではなく、参加してくださっている学会員同士が自分で学び、考え、対話する主体的な場を提供することができた。また、参加していただいた方からの意見を委員内で共有し、次のより良い行事についての方法を模索するという振り返りからの実践を意識した取り組みができていた。その中で行事の運営方法や目的を再考する機会も増え、教育学科にとってどのような目的で、どのような内容で学習機会を提供すればよいのかという将来に向けた新しい行事の仕組みを検討する1年となった。今後とも、運営委員会の活動にご理解とご協力をお願いしたい。</p>

2024年度教育学会決算書

2024年4月1日～2025年3月31日

項目		備考	予算額	決算額	執行率
収入の部	会費収入	入学生学会費	1,078,000	1,078,000	-
		編入生学会費	0	0	-
		大学院生学会費	56,000	56,000	-
	会費収入合計		1,134,000	1,134,000	-
	繰越金		3,597,982	3,597,982	-
	利息		0	0	-
	収入の部 合計		4,731,982	4,731,982	-

運営委員会	支出の部	郵送代	5,000	0	0%	
		花束代	1,500円×4つ	6,000	6,000	
		教育学会総会合計		11,000	6,000	
		春季定例会	企画費	10,000	0	
		春季定例会合計		10,000	0	
		秋季定例会	企画費	講師の新幹線チケットを購入	55%	
				20,000	10,980	
			花束代	3,500	3,300	
			弁当代	1,000	1,500	
			お茶菓子代	3,000	2,570	
秋季定例会合計				27,500	18,350	
ゼミ説明会交通費				56,000	17,250	
公開ゼミ補助費				60,000	0	
公開ゼミ予備費				20,000	0	
教育学会誌		制作費	300,000	0	0%	
		編集費	50,000	0	0%	
		手数料	500	0	0%	
		教育学会誌合計		350,500	0	
印刷費				30,000	4,520	
振り込み手数料				3,000	0	
雑費				10,000	0	
運営委員会合計				578,000	46,120	
後援団体		後援団体大合宿支出合計		422,763	343,897	
		後援団体球技支出合計		220,920	157,837	
		後援団体コンサート支出合計		193,300	143,586	
		後援団体予備費合計		15,000	0	
後援団体支出合計				851,983	645,320	
その他		大学院生	未還元学会費	140,000	0	
			研究支援費	28,000	0	
		大学院生支出合計		168,000	0	
		学会費返金		30,000	0	
その他支出合計				198,000	0	
支出の部 合計				1,627,983	691,440	

2024年度収支差額	3,103,999	4,040,542	-
------------	-----------	-----------	---

次年度繰越金	-	4,040,542	-
--------	---	-----------	---

貴団体の下記の予算申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

2024 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 番場 凌矢

印

団体名	教育学科後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	22114004	役職名	代表
	氏名	番場 凌矢		
副責任者	学籍番号	22114116	役職名	副代表
	氏名	柳沢 有哉		
団体構成	4年生 0 名	3年生 8 名	2年生 9 名	1年生 4 名 合計 21 名

活動内容 【 大合宿 】

実施日	2024年9月3日～5日		実施場所	国立赤城青少年交流の家	
会議期間	2023 年 11 月 13 日 ~ 2024 年 10 月 14 日 (32 回実施)				
参加人数	4年生 21 名		3年生 28 名	2年生 29 名	1年生 12 名 合計 90 名
活動の流れ		<ul style="list-style-type: none"> ・週一回の企画会議、毎週の企画会議からなる。 ・企画会議で企画の発案、全体会議で出た案についての討議を行った。 ・12月から2月にかけて施設探しを行い、以降は企画の準備を進める。 ・定期的に東松山市内の体育館や緑山キャンパスの体育館などを借用して対面式でレクリエーションのシミュレーションを行った。 ・本番同様の活動場所や時間配分で行うシミュレーション(小合宿)を1度実施した。 ・当日程終了後に全体会議にて反省を行う。 			
活動内容報告		<p>当日の流れ</p> <p>【1日目】</p> <p>9:50 入所 9:50～10:30 移動・荷物整理 10:35～10:55 入所式 10:55～12:10 「1日目」レクリエーション① 12:10～12:25 移動 12:25～13:05 昼食 13:05～13:10 移動 13:10～14:35 「1日目」レクリエーション② 14:35～14:45 団体紹介 14:45～14:55 休憩 14:55～15:30 「学びの時間」 15:30～16:00 移動 16:00～18:30 飯盒炊飯 18:30～19:00 移動</p>			

19:00～20:00 参加者入浴
20:00～20:30 移動
20:30～21:30 「4年生」レクリエーション 21:30～21:50 移動
21:50～23:00 自由時間
23:00 就寝

【2日目】

6:00 起床
6:00～6:45 荷物準備
6:45～7:00 移動
7:00～7:20 朝のつどい
7:20～7:35 移動
7:35～8:15 朝食
8:15～8:30 移動
8:30～10:30 「2日」レクリエーション
10:30～11:30 「2夜」レクリエーション① 11:30～12:00 移動
12:00～13:30 飯盒炊飯
13:30～14:30 自由時間
14:30～15:30 「2日」水企画
15:30～16:00 移動
16:00～17:25 着替え
17:25～17:35 移動
17:35～18:15 夕食
18:15～18:30 移動
18:30～19:30 「2夜」レクリエーション② 19:35～19:50 移動
19:50～21:05 「2夜」キャンプファイヤー 21:05～21:30 移動
21:30～22:00 入浴
22:00～23:00 自由時間
23:00 就寝

【3日目】

6:00 起床
6:45～7:00 移動
7:00～7:15 朝のつどい
7:15～7:25 移動
7:25～8:05 朝食
8:05～8:15 移動
8:15～8:45 清掃
8:45～9:00 移動
9:00～11:50 「3日目」レクリエーション 11:50～12:00 移動
12:00～12:40 昼食
12:40～12:50 移動
12:50～14:00 表彰・うちわ贈呈
14:00～14:10 移動
14:10～15:45 「通し」
15:45～16:00 移動
16:00 退所

レクリエーション内容

○ 1日目

バスレクリエーション

「風船爆弾剥がし」

風船を配り、参加者はテープを剥がして裏のお題を進めながらレクを行う。風船が割れたら罰ゲームボックスを引き、最終的にテープの枚数が最も多かった班が全員で罰ゲームを受ける。

【テーマ】クマえもん

「ほんやく飴ちゃん、パイン飴を舐めてみて。」

みんなに集合場所が書かれた紙を配り、後ろに飴をつける。助つ人が謎の文字を掲げ、みんなは飴を舐めることで文字が日本語に変わり、意味が分かるようになる。その後、指定された集合場所に向かい、集合場所が同じだった人と班になる。

「ゴールを目指して突き進め、わくわくロード。」

怪盗Dの世界に行くために、あみだくじを使って進み、途中でキャラクターのミッションをクリアしていく。最終的に「どこでもドア」までたどり着く。

活動内容報告	<p>「どこでもドアをぶちやぶれ！！怪盗 D の世界へ Let's go」 ドアを開けるとクイズや謎解きが待っていて、それを全てクリアした班が怪盗 D の世界に進める。</p> <p>「フェイク班から本当の班へスクラッチ」 怪盗 D が配った暗記用のパンには問題が書かれており、上にはスクラッチがあり、削るとテストの点数が表示される。その点数が同じ人で、本当の班が完成する。</p> <p>「みんなで奏でよう、ジャンジャン選手権！」 各班の代表者が前に出て、頭の上で紙を掲げ、班員はその紙を見て大きな声で歌う。代表者は歌った内容を聞き取り、班ごとに発表する。各班にはメガホンや鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどのアイテムが配られる。</p> <p>「び！び！BINGO！」 bingoカード(1~100 の数字と 50 音)を用意し、床にのび太の漫画を散らばせる。漫画には番号や 50 音が書かれており、それをbingoカードに貼っていく。開いた数が多いほど順位が上がり、縦・横・斜めが 3 つ以上揃ったら追加ポイント。秘密道具が書かれた漫画を拾うと獲得できる。bingo終了後、50 音のbingoカードには次のレクに関する情報も書かれている。かも...？</p> <p>「こちらのひみつ道具はこういうものになります。へー、えっ、それってほんと？ひみつ道具紹介！」 このレクでは、最も本当のひみつ道具の使い方に近い班が勝ちとなる。各班にはひみつ道具の使い方が書かれた紙が渡され、1 班だけ本当の使い方が書かれた紙を持っている。班ごとに実演を行い、その後、他の班が本当の使い方を知っている班を予想する。人狼側が選ばれなければ勝ちとなり、ひみつ道具を獲得できる。その他の班が正しく予想できた場合、その班がひみつ道具を獲得する。</p> <p>「怪盗 D を倒そう！」 このレクでは、空気砲を持っている班の代表者と、最初のレクで紙を持っていた人が参加する。参加者は衣装を着替え、1 人 1 つひみつ道具を持って怪盗 D に向かって攻撃する。怪盗 D やられる。</p> <p>○ 2日目昼 「忍者変身の術」 みんなで忍者にへんしんさせるダンスをする。</p> <p>「抜き足、差し足、忍び足！忍者おにごっこ」 足に鈴をつけて鬼ごっこをし、鬼は「ウォニ」カードを渡して捕まえた人にポイントを与える。ゲーム中、委員の指示で「抜き足」「差し足」「忍び足」を使い分ける。各班から 1 人鬼を選び、1 回 2 分で 3 回戦を行い、捕まえた人数×10 ポイントが得点になる。最後に鬼になったチームは-10 ポイントされ、3 回戦目ではプロ忍者が登場して-50 ポイントを持つ。忍び足で音を立てたら 3 秒止まるルールがあり、最終的に得点が高いチームが勝ち。</p> <p>「師匠の試練を乗り越えろ! 手裏剣だるまさんがころんだ」 手裏剣を拾って自分のチームのカゴに入れるゲーム。スタートの合図で、自分のチームの手裏剣を拾い、ラインを超えないように投げる。進む際は「だるまさんが転んだ」のように進み、隠れ身の術を使って身を隠す。手裏剣の大きさによって得点(小 5 点、大 10 点)。各チームは役職に応じた特別ルールがあり(例:亀はゆっくり進む、うさぎはジャンプで進む)。最終的に、カゴに多く手裏剣を入れたチームが勝利。</p> <p>「みんなに続け！影分身リレー」 コースを一人ずつ一周し、周回ごとに後ろに一人増えていく形式で進む。最初にゴールしたチームが勝ち、ゴールすると巻物をゲットできる。順位に応じて得点が与えられる(1位 100 点～10 位 10 点)。コース内容は以下の通り：</p> <ol style="list-style-type: none"> 馬跳び:前の人馬になり、後ろの人だけ飛ぶ。 雑巾がけ:雑巾がけで進む。 ほふく前進:ほふく前進で進む。 輪ぐり:走りながら手をつなぎ、輪をくぐる。 <p>「力をあわせろ！巻物解読！」 リレーでゲットした巻物を使い、スタートの合図で委員が忍者文字表を渡す。チームは文字を解読し、正解がわかつたら手を挙げる。手を挙げたチームから順に回答し、早く正解したチームが勝ち。順位に応じて得点が与えられる(1 位 100 点～10 位 10 点)。最後に、1 班から 10 班の巻物の答えが「勇気 100%」となり、みんなで歌う。</p> <p>【水企画】 「かけてみつけろ！王様さがし！」 学年ごと(1 年、2 年、3 年、4 年)で戦い、各学年から代表者を決める。代表者の腕にあるチーム分けのものを濡らしたチームが勝ちとなる。試合中、リーダーが分からぬ状態でバラバラに掛け合う。</p> <p>「夏だぜ！大合宿フェス」 フェスのように音楽をかけ、水をかけてもりあがる。</p>
--------	---

活動内容報告	<p>○ 2日目夜</p> <p>20歳～ひさびさに再開した君と～ BigCamp中学校出身の参加者は、約10年の時を経て再び一つの場所に集った。ここは赤城成人式。あの頃の思い出を、青春をもう一度。</p> <p>「出会い系」 全員にクラスごとの集合場所が書かれた紙を配り、クラスごとに集める(10人×10組程度)。その後、タイムカプセルを掘り、タイムカプセルには昔好きだった子の名前と特徴が書かれており、それをもとにペアになる。ペア同士は離れないように赤い糸で小指を結ぶ。</p> <p>「どのペアよりもいっちゃんおつきい花束を！！！」 中央に花を置き、参加者はペア同士で手をつなぎ、円を作つて曲に合わせて動く。曲ごとにスキップやジャンプなどの試練があり、曲が止まつたら花を取る。花が被つた場合、ジャンケンをして勝ったペアが相手の花をもらう。ゲーム終了後、各ペアごと持っている花で花束を作り、赤い糸で結んで完成させる。</p> <p>○ 3日目</p> <p>【アルバイトレク】 各レクでアルバイトを行い、みんなで頑張って架空通貨アーキを稼ぐ。順位に応じて給料(アーキ)が変わり、1位から順位に高くなる。レクの名前発表時には「いらっしゃいませ」と言ってもらう。</p> <p>「履歴書を書こう」 チームごとに履歴書を配り、履歴書の名前の欄にチーム名を書いてもらう。</p> <p>「ジュージュー牛タン！」 自分のチームの網に、体育館に散らばつた「生」「焦げ」「よく焼け」のお肉を拾つてくる。お肉の種類に応じてポイントを集計し、「焦げ」や「生」は10ポイント、「よく焼け」は20ポイント、ゴールデンお肉は100ポイント。2回戦目からは相手のポイントを奪うことができる人が出現。</p> <p>「ピッピッ！！レジ打ち————！！」 委員が商品の名前と値段を言い、参加者はそれを計算してもらう。チームごとに話し合つて計算し、正解の値段と近かったチームが勝利。</p> <p>「たくさん運んでたくさん稼げ！ホールバイト！！亞種」 リレー形式で行い、各チームはごはんの周りに落ちている伝票を拾い、記載されている食べ物を拾つて重ねてチームに戻る。伝票を落とした場合は拾い直し、次の人にバトンタッチ。ゲーム終了時、伝票の合計金額とリレーの速さで順位を決定し、合計金額が高いチームが勝利。</p> <p>「賭けっこ競争」 赤城の山のお友達がレースを行う。だれがどの順位になるか予想しよう。当たつたらアーキが増えるよ。外れたらアーキが減るよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションを通し、班員同士を中心とした新たな交友関係を築くことができた。 ・レクリエーションを通し、班員同士で協力し合つて活動することで主体性や協調性を育むことができた。 ・レクリエーションを行うことでMCやタイムキーパー、集計等のレクリエーションの中での役回りを確認することができた。
成果	

反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none">多くの参加者の方に来ていただくことはできたが、後援団体外の参加者の方が少なかったため、教育学科内でたくさん参加していただくという課題が残った。雨天などのイレギュラーな事態を十分に想定していなかったため、代案を事前に考えておくべきだった。ごみの管理が予想以上に難しかったため、事前にもっと詳細な対策を強化し、分別方法や収集のタイミングを明確にしておくべきだった。番台の体制を整え、緊急時に男女両方に対応できるように委員を配置するべきだった。レクリエーションや食事の間に参加者に大幅な待機時間を与えてしまったため、タイムスケジュールの見直しが必要であった。
---------	--

活動内容 【 小合宿 】

実施日	2024年8月18日～19日	実施場所	国立赤城青少年交流の家
参加人数	4年生 0 名 3年生 8 名 2年生 9 名 1年生 4 名	合計	21 名
活動内容報告			<p>当日の流れ</p> <p>【1日目】</p> <p>9:30～10:00 入所 10:00～10:15 移動 10:15～12:00 入所式「1日目」レクリエーション① 12:00～12:15 移動 12:15～12:45 昼食 12:45～13:00 移動 13:00～15:00 1日目レクリエーション② 2夜レクリエーション 15:00～15:30 移動 15:30～18:30 飯盒炊飯 18:30～18:45 移動 18:45～20:30 「2夜」キャンプファイヤー 20:30～21:00 移動 21:00～21:30 入浴 21:30～22:00 就寝準備 22:00～23:00 反省会 23:00 就寝</p> <p>【2日目】</p> <p>6:00 起床 6:00～6:45 片付け・荷造り 6:45～7:00 移動 7:00～7:20 朝のつどい 7:20～7:50 朝食 7:50～8:00 移動 8:00～8:45 清掃 8:45～9:00 移動 9:00～10:30 「2昼」レクリエーション 10:30～12:00 「3日目」レクリエーション① 12:00～12:10 移動 12:10～12:40 昼食 12:40～13:00 移動・企画準備 13:00～13:30 「3日目」レクリエーション② 13:30～13:50 移動 13:50～15:00 「2昼」水企画 15:00～15:30 片付け 15:30～16:00 移動・退所準備 16:00 退所</p> <p>レクリエーション内容</p> <p>○ 1日目 バスレクリエーション 「風船爆弾剥がし」 風船を配り、参加者はテープを剥がして裏のお題を進めながらレクを行う。風船が割れたら罰ゲームボックスを引き、最終的にテープの枚数が最も多かった班が全員で罰ゲームを受ける。</p> <p>【テーマ】クマえもん 「ほんやく飴ちゃん、パイン飴を舐めてみて。」 みんなに集合場所が書かれた紙を配り、後ろに飴をつける。助っ人が謎の文字を掲げ、みんなは飴を舐めることで文字が日本語に変わり、意味が分かるようになる。その後、指定された集合場所に向かう、集合場所が同じだった人と班になる。</p> <p>「ゴールを目指して突き進め、わくわくロード。」 怪盗Dの世界に行くために、あみだくじを使って進み、途中でキャラクターのミッションをクリアしていく。最終的に「どこでもドア」までたどり着く。 「どこでもドアをぶちやぶれ！！怪盗Dの世界へ Let's go」 ドアを開けるとクイズや謎解きが待っていて、それを全てクリアした班が怪盗Dの世界に進める。 「フェイク班から本当の班へスクラッチ」</p>

活動内容報告	<p>「どこでもドアをぶちやぶれ！！怪盗 D の世界へ Let's go」 ドアを開けるとクイズや謎解きが待っていて、それを全てクリアした班が怪盗 D の世界に進める。</p> <p>「フェイク班から本当の班へスクラッチ」 怪盗 D が配った暗記用のパンには問題が書かれており、上にはスクラッチがあり、削るとテストの点数が表示される。その点数が同じ人で、本当の班が完成する。</p> <p>「みんなで奏でよう、ジャンジャン選手権！」 各班の代表者が前に出て、頭の上で紙を掲げ、班員はその紙を見て大きな声で歌う。代表者は歌った内容を聞き取り、班ごとに発表する。各班にはメガホンや鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどのアイテムが配られる。</p> <p>「び！び！BINGO！」 bingoカード(1~100 の数字と 50 音)を用意し、床にのび太の漫画を散らばせる。漫画には番号や 50 音が書かれており、それをbingoカードに貼っていく。開いた数が多いほど順位が上がり、縦・横・斜めが 3 つ以上揃ったら追加ポイント。秘密道具が書かれた漫画を拾うと獲得できる。bingo終了後、50 音のbingoカードには次のレクに関する情報も書かれている。かも...？</p> <p>「こちらのひみつ道具はこういうものになります。へー、えっ、それってほんと？ひみつ道具紹介！」 このレクでは、最も本当のひみつ道具の使い方に近い班が勝ちとなる。各班にはひみつ道具の使い方が書かれた紙が渡され、1 班だけ本当の使い方が書かれた紙を持っている。班ごとに実演を行い、その後、他の班が本当の使い方を知っている班を予想する。人狼側が選ばれなければ勝ちとなり、ひみつ道具を獲得できる。その他の班が正しく予想できた場合、その班がひみつ道具を獲得する。</p> <p>「怪盗 D を倒そう！」 このレクでは、空気砲を持っている班の代表者と、最初のレクで紙を持っていた人が参加する。参加者は衣装を着替え、1 人 1 つひみつ道具を持って怪盗 D に向かって攻撃する。怪盗 D やられる。</p> <p>○ 2日目昼 「忍者変身の術」 みんなで忍者にへんしんさせるダンスをする。</p> <p>「抜き足、差し足、忍び足！忍者おにごっこ」 足に鈴をつけて鬼ごっこをし、鬼は「オニ」カードを渡して捕まえた人にポイントを与える。ゲーム中、委員の指示で「抜き足」「差し足」「忍び足」を使い分ける。各班から 1 人鬼を選び、1 回 2 分で 3 回戦を行い、捕まえた人数×10 ポイントが得点になる。最後に鬼になったチームは-10 ポイントされ、3 回戦目ではプロ忍者が登場して-50 ポイントを持つ。忍び足で音を立てたら 3 秒止まるルールがあり、最終的に得点が高いチームが勝ち。</p> <p>「師匠の試練を乗り越えろ! 手裏剣だるまさんがころんだ」 手裏剣を拾って自分のチームのカゴに入れるゲーム。スタートの合図で、自分のチームの手裏剣を拾い、ラインを超えないように投げる。進む際は「だるまさんが転んだ」のように進み、隠れ身の術を使って身を隠す。手裏剣の大きさによって得点(小 5 点、大 10 点)。各チームは役職に応じた特別ルールがあり(例:亀はゆっくり進む、うさぎはジャンプで進む)。最終的に、カゴに多くの手裏剣を入れたチームが勝利。</p> <p>「みんなに続け！影分身リレー」 コースを一人ずつ一周し、周回ごとに後ろに一人増えていく形式で進む。最初にゴールしたチームが勝ち、ゴールすると巻物をゲットできる。順位に応じて得点が与えられる(1 位 100 点～10 位 10 点)。コース内容は以下の通り: 1. 馬跳び:前の人馬になり、後ろの人だけ飛ぶ。 2. 雜巾がけ:雑巾がけで進む。 3. ほふく前進:ほふく前進で進む。 4. 輪ぐり:走りながら手をつなぎ、輪をくぐる。</p> <p>「力をあわせろ！巻物解読！」 リレーでゲットした巻物を使い、スタートの合図で委員が忍者文字表を渡す。チームは文字を解読し、正解がわかつたら手を挙げる。手を挙げたチームから順に回答し、早く正解したチームが勝ち。順位に応じて得点が与えられる(1 位 100 点～10 位 10 点)。最後に、1 班から 10 班の巻物の答えが「勇気 100%」となり、みんなで歌う。</p> <p>【水企画】 「かけてみつけろ！王様さがし！」 学年ごと(1 年、2 年、3 年、4 年)で戦い、各学年から代表者を決める。代表者の腕にあるチーム分けのものを濡らしたチームが勝ちとなる。試合中、リーダーが分からぬ状態でバラバラに掛け合う。</p> <p>「夏だぜ！ 大合宿フェス」 フェスのように音楽をかけ、水をかけてもりあがる。</p>
--------	--

活動内容報告	<p>○ 2日目夜 20歳～ひさびさに再開した君と～ BigCamp 中学校出身の参加者は、約 10 年の時を経て再び一つの場所に集った。ここは赤城成人式。あの頃の思い出を、青春をもう一度。</p> <p>「出会い」 全員にクラスごとの集合場所が書かれた紙を配り、クラスごとに集める(10 人×10 組程度)。その後、タイムカプセルを掘り、タイムカプセルには昔好きだった子の名前と特徴が書かれており、それをもとにペアになる。ペア同士は離れないように赤い糸で小指を結ぶ。</p> <p>「どのペアよりもいちばんおつきい花束を！！！」 中央に花を置き、参加者はペア同士で手をつなぎ、円を作つて曲に合わせて動く。曲ごとにスキップやジャンプなどの試練があり、曲が止まつたら花を取る。花が被つた場合、ジャンケンをして勝ったペアが相手の花をもらう。ゲーム終了後、各ペアごと持つている花で花束を作り、赤い糸で結んで完成させる。</p> <p>○ 3 日目 【アルバイトレク】 各レクでアルバイトを行い、みんなで頑張つて架空通貨アーキを稼ぐ。順位に応じて給料(アーキ)が変わり、1 位から順位に高くなる。レクの名前発表時には「いらっしゃいませ」と言ってもらう。</p> <p>「履歴書を書こう」 チームごとに履歴書を配り、履歴書の名前の欄にチーム名を書いてもらう。</p> <p>「ジュージュー牛タン！」 自分のチームの網に、体育館に散らばつた「生」「焦げ」「よく焼け」のお肉を拾つてくる。お肉の種類に応じてポイントを集計し、「焦げ」や「生」は 10 ポイント、「よく焼け」は 20 ポイント、ゴールデンお肉は 100 ポイント。2 回戦目からは相手のポイントを奪うことができる人が出現。</p> <p>「ピッピッ！ レジ打ちーーーーーーーー！」 委員が商品の名前と値段を言い、参加者はそれを計算してもらう。チームごとに話し合つて計算し、正解の値段と近かつたチームが勝利。</p> <p>「たくさん運んでたくさん稼げ！ ホールバイト！！ 亜種」 リレー形式で行い、各チームはごはんの周りに落ちている伝票を拾い、記載されている食べ物を拾つて重ねてチームに戻る。伝票を落とした場合は拾い直し、次の人にバトンタッチ。ゲーム終了時、伝票の合計金額とリレーの速さで順位を決定し、合計金額が高いチームが勝利。</p> <p>「賭けっこ競争」 赤城の山のお友達がレースを行う。だれがどの順位になるか予想しよう。当たつたらアーキが増えるよ。外れたらアーキが減るよ。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・大合宿に向けて、施設に行かなければわからない、移動の時間や野外炊事やキャンプファイヤー、水企画などのリハーサルとして、とても意義のあるものであった。 ・必要な持ち物や備品、所要時間など多方面で大合宿に向けての最終確認を行うことができた。 ・宿泊での大合宿を経験していない1年生に具体的な経験やイメージを持たせることができた。 ・本番と同じ体育館でレクリエーションを行うことで、より実践に近い形での MC や裏方の動きを確認することができた。

- 反省点・改善点
- ・タイムスケジュールが過密なものでありながら、一泊二日で本番の二泊三日のリハーサルをしなければいけない状況であったため、余裕をもった活動が難しかった。タイムスケジュールの組み方の見直しも必要と考えられる。
 - ・予想以上の暑さで、当初考えていた対策だけでは不十分だと分かり、ジャグや送風機の設置に加えて、給水所の設置やその他の暑さ対策も必要だった。
 - ・当日使用する備品が不足していたので、事前に確認しておくべきだった。

貴団体の申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 岡田 康生

印

団体名	教育学科後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	22114004	役職名	代表
	氏名	番場 凌也		
会計責任者	学籍番号	22114111	役職名	会計
	氏名	岡田 康生		

補助金使用用途及び申請額

活動内容 【 大合宿 】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
企画費	1日目 粘着テープ 2090 ゴミ袋 330 パステルバルーン 110 色画用紙 2750 マス模造紙 880 マグネット粘着テープ 110 てさげポリ袋 110 銀色鈴 110 ○×ゲーム 330 バルーンアートネオンカラー 110 ビニールテープ 110 アクリル絵の具 330 キャンドウ 440 パーティ手鈴 110 応援メガホン 330 馬毛丸筆 110 ドレミランペット 220 おかげカップ 440 レジ袋 20 レジ袋 3	90,000	47,655	42,345	53%

企画費	2昼				
	画用紙	110			
	伸縮ボール	440			
	B7チャック袋	110			
	ビー玉	440			
	スプーン	110			
	ペーパーカップ	110			
	ストロー	110			
	タオルダスター	110			
	A7チャック付き袋	110			
	ランドリーピンチ	110			
	卓球ボール	110			
	リボン	440			
	ペーパーボウル	220			
	色上質エコカラー	33			
	セクションペーパー	33			
	ぞうきん	2310			
	コピー	40			
	ハイマッキー	270			
	コメハゼ	213			
	防鳥網	398			
	紐付きカラー鉛	330			
	折り紙	110	90,000	47,655	42,345
	アルミホイル	220			53%
	ゴムバンド	110			
	ビニール袋	6			
2夜					
フラワーぺーパー	3300				
水風船ラケットセット	330				
アクリル毛糸	220				
レジ袋	13				
模造紙	220				
段ボール	220				
シャベル	220				
画用紙	990				
ローズイエローホワイトミックス	330				
割りばし	440				
木製丸棒	220				
養生テープ	220				
oppテープ	110				
ハサミ	110				
バガスボール	440				
コピー	210				
エコカラー	220				
スケッチブック	22				
雑貨	1100				

企画費	3日目				
	コピー	1090			
	アクリル毛糸	220			
	平巻テープ	110			
	画用紙	770			
	工作用紙	110			
	ペーパーボウル	3740			
	紙皿	1980			
	ペーパープレート	110			
	ビー玉	110			
	オーロカラーマーブル	220			
	瞬間接着剤	110			
	キッキンラップ	550			
	ラッピングシート	220			
	マグネット粘着	330			
	oppテープ	550			
	カラー粘着テープ	220			
	ペーパーカップ	440			
	セクションペーパー	220			
	ボールペン	110			
	サラサクリップ	110			
	割りばし	110			
	両面テープ	110			
	油性ツインマイスター	110	90,000	47,655	42,345
	プロッキー	110			
	二重クリップ	110			
	アルミホイル	110			
	バガスボウル	330			
	クラフトペーパーボウル	110			
	ゴミ袋	110			
	レジ袋	3			
通し					
	両面テープ	220			
	ハイマッキー	748			
	支柱	440			
	テープカッター	110			
	テープ	330			
	セレクションペーパー	990			
	ハイマッキー黒	220			
	色画用紙	770			
	アサヒモ	110			
	ゴミ袋	110			
	養生ロープ	220			
	クリップ	220			
	折り紙	110			
	木製ボックス	110			

企画費	開閉会式					
	画用紙	110				
	厚口コピー用紙	110				
	カーブスタンド	1760				
	ストラップクリップ	2200				
	防振マット	660	90,000	47,655	42,345	53%
	リボンメタリックベース	330				
	目打ち	110				
	レジ袋	3				
野外炊飯用具費	デコレーションうちわ	550				
	紙コップ	1320				
	ダスター	550				
	ゴミ袋	220				
	クレンザー	214				
	たわし	330				
	不織布ダスター	220				
	ペーパー-2	1100	9,235	6,374	2,861	69%
	紙皿	220				
	紙コップ	220				
	ハンドソープ	220				
	洗剤	220				
	スポンジ	110				
	割りばし	110				
医療費	ペーパー-3	1320				
	麦茶	384				
	コールドスプレー	767				
	テーピング	110	1,951	1,698	253	87%
	絆創膏	110				
文房具	冷却シート	327				
	ガムテープ	979				
	ガムテープケース買い	5296				
	クラフトペーパーカップ	110				
	クレヨン	110				
	テープ	440				
	のり	259				
	のり②	110				
	ハサミ	110				
	ホッチキス針	330				
	ボンド	220				
	画用紙	2530				
	梱包用テープ	550	20,000	20,887	-887	104%
	細ペン	220				
	太ペン	1870				
	袋	9				
	袋	5				
	粘着テープ	5170				
	筆	110				
	布テープ	259				
	平巻テープ	880				
	模造紙	220				
	養生テープ	770				
	両面テープ	220				
	輪ゴム	110				

交通費	有料道路行き	2110	49,240	46,538	2,702	95%
	有料道路帰り	1900				
	緊急車両ガソリン代	1290				
	打合せガソリン代	4378				
	緊急車両	35310				
施設費	打合せ有料道路	1550	15,650	18,940	-3,290	121%
	薪(野外炊事用)	12000				
	薪(キャンプファイヤー用)	6000				
	トーチ	840				
予備費	灯油	100	6,387	0	6,387	0%
	未使用	0				
後援助成金決済総額:活動内容【大合宿】		192,463	142,092	50,371	74%	

活動内容 【 小合宿 】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
施設費	薪(野外炊事用)	750	6,850	4,130	2,720
	薪(キャンプファイヤー用)	1500			
	トーチ	280			
	灯油	100			
交通費	バス行き	79200	214,323	197,675	92%
	バス帰り	79200			
	バス有料道路行き	4930			
	バス有料道路帰り	4930			
	緊急車両	23540			
	緊急車両ガソリン代	1916			
	緊急車両ガソリン代	159			
	緊急車両有料道路代行き	1900			
	緊急車両有料道路代帰り	1900			
予備費	未使用	0	9,127	0	9,127
後援助成金決済総額:活動内容【小合宿】		230,300	201,805	28,495	88%

後援助成金決済総額	422,763	343,897	78,866	81%
-----------	---------	---------	--------	-----

貴団体の申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 嵐田 涼平

印

団体名	教育学科後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	22114065	役職名	代表
	氏名	嵐田 涼平		
副責任者	学籍番号	22114087	役職名	副代表
	氏名	白石 拓夢		
団体構成	学籍番号	22114057	役職名	副代表
	氏名	寺下 杏		
団体構成	4年生 0 名	3年生 17 名	2年生 12 名	1年生 11 名 合計 40 名

活動内容 【 球技 】

実施日	秋大会 2024年9月22日 冬大会 2024年12月15日	実施場所	秋大会 大東文化大学緑山キャンパス 冬大会 大東文化大学総合体育館
会議期間	2024 年 1 月 15 日 ~	2024 年 12 月 16 日	(25 回実施)
参加人数(秋)	4年生 22 名 3年生 25 名 2年生 27 名 1年生 20 名	合計 94 名	
参加人数(冬)	4年生 21 名 3年生 27 名 2年生 35 名 1年生 21 名	合計 104 名	
活動内容報告	○活動内容 ・球技大会の種目、日程、開催場所を決める。 ・どんな人でも球技大会を楽しむことができるような、種目のルール作りをする。 ・ルール作りのために、種目ごとにシミュレーションを重ね、会議にてシミュレーションによってでた反省点、改善点を討議する。 ・昨年度の球技大会の反省をもとに、当日の球技大会の流れや委員の動きを確認する。 ・企画の立案、当日の運営を行う。		
	○種目と企画 <秋季大会> 種目:ハンドボール(当日、雨天のため2022年度冬大会種目であるバレーボールを実施。天候回復後、残りの時間でハンドボールを実施。) 企画:バス、シュートとハンドボールの特性に加えて、氷鬼ごっここの触れられたら固まるというルールを組み合わせたミニゲーム(雨天のため不実施。) <冬季大会> 種目:ドッヂボール 企画:中当てるルールを改良し、時間経過ごとに攻撃側の投げるボールが増えていくミニゲームと、1つの学年が攻撃側になり、残りの3学年が逃げる側に回って、何人当てることができたかを競うミニゲーム		

活動内容報告	<p>○当日の活動の流れ <秋季大会> •10:30 開会式 •12:00 バレーボール •15:00 ハンドボール •16:00 閉会式 •17:00 完全撤収</p> <p><冬季大会> •9:30 開会式 •10:30 企画 •12:30 リーグ戦 試合開始 •14:30 トーナメント戦 •16:30 閉会式 •17:45 完全撤収</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> 秋季大会が天候不良によって、大会当日に種目やタイムスケジュールを大幅に変更したが、委員全員が臨機応変に動くことができ、円滑に進めることができた。 当日欠席者が出了る場合に、委員内で情報の共有を素早く行ったことでスムーズに対応することができた。 けがに対する応急処置方法の確認と、医療品の入念な管理を日ごろから行っていたことで、当日にけがをしてしまった人に素早く処置をとることができた。 大会当日を想定しながら、種目の審判と委員の立ち回りをシミュレーションで練習したことによって、当日に円滑な大会運営をすることができた。 昨年度の反省から、全試合終了後に行う参加者用アンケートをグーグルフォーム上で取ったことにより、アンケートを取る時間の短縮と参加者の意見、感想を集計しやすくなつた。
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> 秋季大会で雨天の場合を想定していない、大会当日に種目やタイムスケジュールの変更を行ったことで参加者の方々に急な対応をさせてしまった。来年度以降、雨天時に実施する種目や大会の運営について事前に決め、天候がどのようになつても余裕をもつて当日を迎えるようにする。 大会当日、次の試合や参加者の次の行動についてのアナウンスが不十分で、想定していた時間よりも押してしまうケースがあった。委員全員でこまめな声掛けをし、よりスムーズな大会進行が行えるようにする。 球技大会を開催する日曜日に営業している病院が少なく、大会で大きな人がでてしまった場合に搬送できる病院探しに時間がかかってしまった。冬季大会では、あらかじめ営業している近くの病院をみつけておくことと、埼玉県の救急医療情報システムを活用することで素早く対応できるようにした。

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

高橋 賢人 印

申請者

新山 莉子 印

団体名	教育学科後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	22114065	役職名	代表
	氏名	儘田 潤平		
会計責任者	学籍番号	22114110	役職名	会計
	氏名	高橋 賢人		
	学籍番号	22114033	役職名	会計
	氏名	新山 莉子		

補助金使用用途及び申請額

活動内容 【 球技 】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
緊急車両代	レンタカー(4台) 53,856 ガソリン(4台) 2,042	60,000	55,898	4,102	93%
用具代	ゴール(4個) 67,920 ボール(3個) 7,827	85,920	75,747	10,173	88%
企画費	ドリンク(2本) 278	15,000	278	14,722	2%
医療費	inタブレット塩分プラス 2,149 ボカリスエット パウダー(10L×10袋) 5,623 香り薫る麦茶パック 429 極冷却スプレー 165 瞬間冷却パック(4個) 655 ケンエーシロチン 437 OS-1(2個) 429 のびのびサロンシップフィット 1,457	10,000	11,344	-1,344	113%
シミュレーション代	鳩山町体育施設(1回) 3,000	24,000	3,000	21,000	13%

文房具代	スケッチブック	1,633				
	模造紙(5個)	550				
	画用紙(4個)	440				
	平巻テープ	110				
	養生テープ(3個)	330				
	ハイマッキー	877	8,000	4,875	3,125	61%
	布テープ	110				
	ホワイトボードマーカー	110				
	プロッキー	110				
	プロッキー	110				
参加者景品代	お菓子(秋大会&冬大会)		4,000	2,677	1,323	67%
雑費	カードリング	110				
	A4ファスナーケース(2個)	220				
	レジ袋(2枚)	9				
	ラミネートフィルム(11枚)	1,210				
	リストバンド(4本)	396	10,000	4,018	5,982	40%
	送料(リストバンドを買った時にかかった)	253				
	ペーパーカップ(8個)	880				
	ゴミ袋(90L×4個)	440				
印刷代	委員用しおり/委員用ルールプリント	0	4,000	0	4,000	0%
後援助成金決済総額		220,920	157,837	63,083	71%	

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 田野 五星

印

団体名	教育学科後援団体 コンサート			
団体責任者	学籍番号	22114020	役職名	代表
	氏名	田野 五星		
副責任者	学籍番号	22114046	役職名	副代表
	氏名	須貝 菜央		
団体構成	学籍番号	23114090	役職名	副代表
	氏名	井口 韶		
合計	4年生 3 名	3年生 5 名	2年生 29 名	1年生 24 名
合計	61 名			

活動内容 【 コンサート 】

実施日	2024年11月9日		実施場所	東松山校舎60周年記念講堂		
会議期間	2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日 (20 回実施)					
参加人数	4年生 39 名		3年生 57 名	2年生 60 名	1年生 128 名	合計 284 名
活動内容報告	<ul style="list-style-type: none"> ・本番の円滑な進行に向けた定例会議の実施(週一回) ・コンサート本番の企画・運営 ・開催に向けた全体周知、ポスター作り ・機材搬入や設備設置、会場装飾などの本番に向けた準備、会場運営 ・各団体や参加者との連携、打ち合わせ ・委員連携を深めることを目的とした、夏合宿、冬合宿の実施 ・共催実行委員を通して教員との連携及び質の向上を図った ・横看板の作成 ・新入生の委員参加を目的としたオリエンテーション合宿への参加及び勧誘 ・委員連携を深めることを目的とした、コンサートTシャツの作成 					

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・去年と比較し参加者の増加、並びに照明や音響機材などの有用性の増加等より質の高いコンサートを開催することができた ・一年生の加入により、委員人数が去年よりも大きく増え、委員同士のやり取りや活動の効率が大きく向上した。また、人数を生かして、横看板や会場の装飾物、オープニングセレモニーなどに時間を費やすことができ、より高いクオリティーの作品を作ることに成功した。 ・2回の合宿や横看板作成を通して委員間のコミュニケーションが増え、学年を超えたつながりを深めることができた。 ・去年からの反省を生かし、リハーサル期間までの見通しを持ち、周知を早めるなどゆとりを持った行動ができた。また、それにより本番も大きなトラブルもなく、全てのプログラムを円滑に進めることができた。
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年行っている本番に向けたテーマ決めが中々決まらず、それに伴い他の作業にも遅れが生じた。円滑なテーマ決めのために新入生勧誘と並行しての会議を行っていきたい。 ・委員からの周知が足りず、発表団体の音源の提出やリハーサル日程の提出に遅れが生じた。複数回告知を行うなどをし、双方の認識に共有を図りたい。 ・定例会議が遅くまで行うことがあり、本来の20時解散を超すことがあった。会議での内容を事前に確認を行い余裕を持った上で会議に持ち込むようにし、委員全体で意識づけを図っていきたい。 ・委員間での仕事量の偏りが目立った。人任せにならないよう、また仕事量が多いと判断した際は気軽に作業を分配できる環境づくりを行っていく。

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 宮崎 隼成

印

団体名	教育学科後援団体 コンサート			
団体責任者	学籍番号	22114020	役職名	代表
	氏名	田野五星		
会計責任者	学籍番号	22114002	役職名	会計
	氏名	宮崎隼成		

補助金使用用途及び申請額

活動内容 【コンサート】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
広告	コピーライター 60 コピー用紙 1,380	22,200	1,440	20,760	6%
オープニングアクト代		5,000	0	5,000	0%
文房具代	クリアファイル 2,149 半紙 660 シール 220 カラーフィルター 6,957 色画用紙 550 画用紙 982 模造紙 1,286 折り紙 440 クレパス 1,318 木工用ボンド 110 カラー布テープ 3,336 ビニールテープ 232 養生テープ 3,989 封筒 110	25,500	22,339	3,161	88%
来賓費	花束代 5,900	5,600	5,900	-300	105%
横看板製作費	画材 16,148 ケントロール紙 4,224 スプレーボトル 330 クリアカップ 663	30,000	27,107	2,893	90%
映像関係製作費	大東スクラム撮影費 58,190	55,000	58,190	-3,190	106%

企画費	1B	1,703	30,000	10,937	19,063	36%
	2AD	1,440				
	2CF	1,103				
	3AF	770				
	3BC	2,090				
	4EF	1,331				
	4BC	2,500				
緊急車両代	緊急車両代(レンタカー)	11,010	10,000	11,010	-1,010	110%
雑費	コピー用紙	941	10,000	6,663	3,337	67%
	オーディオプラグ	984				
	ゴミ袋	110				
	クレCRC5-56	980				
	ガムテープ	556				
	アロンアルファ	478				
	クロスバッキン	258				
	園芸支柱	712				
	ベニヤ板	996				
	エースクロス	648				
後援助成金決済総額		193,300	143,586	49,714	74%	

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2024 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 筑比地 秀斗 印

団体名	教育学科共催行事実行委員会			
団体責任者	学籍番号	21114092	役職名	委員長
	氏名	筑比地 秀斗		
副責任者	学籍番号	21114038	役職名	副委員長
	氏名	清水 悠貴		
団体構成	4年生 3 名	3年生 5 名	2年生 任意 名	1年生 0 名 合計 若干 名

活動内容		【 会議 】					
実施日			実施場所	板橋キャンパス 研究スペース			
会議期間	2024 年 1 月 22 日 ~ 2024 年 12 月 16 日 (12 回実施)						
参加人数	4年生 3 名 3年生 5 名 2年生 希望者のみ						
活動内容報告	活動の流れ •コンサート本番の日時の決定 •コンサートのテーマの決定 •コンサート本番におけるクラス分けの決定 •コンサートテーマの精査 •審査基準・審査項目についての検討 •審査委員の依頼 •学生・教員間での現状共有						

成果	<ul style="list-style-type: none"> 表現についての学びを提案し、多様な形でお願いをすることで誰もが安心して楽しめる場を作ることができた。 昨年度と比べて、教員との連絡を取る機会が増え、情報の行き違い等が軽減した。 審査員制度により、各団体に対して客観的な視点で、公平な評価を行うことができた。 審査基準を設けたことで表現について考える指針が明確化された。
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> 教員との連絡の行き違いが生じることがあったため、全員が見える場での連絡を徹底する。 参加する委員が不明確であったため、役割の重要性を再確認し、主体的にかかわれるようとする。 4年生の教育実習などが重なった際でもスムーズに進行できるように、事前に代役を立てておく体制を整える。 会議の内容の周知が足らずに認識の行き違いが生じることがあったため、会議の議事録の周知の徹底や口頭での報告を徹底する。

貴団体の申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2025年度 教育学会運営委員会活動計画(案)

団体名	教育学会運営委員会		
委員長	学籍番号	23114078	
	氏名	猪飼 大佳	
副委員長	学籍番号	23114132	
	氏名	渡邊 心	
	学籍番号	24114130	
	氏名	渡邊 伶歩	
書記	学籍番号	23114088	
	氏名	近藤 亜岐	
	学籍番号	24114002	
	氏名	篠宮 梨心	
会計	学籍番号	23114082	
	氏名	遠藤 雅也	
	学籍番号	24114045	
	氏名	藤尾 陸翔	

以上、教育学会則第5章第24条に定める常任役員7名

構成員	3年生		2年生	
	3A	浅野 維吹	2A	齊藤 基郎
	3A	倉持 蓮	2A	東條 聖
	3B	北岡 大樹	2A	高野 鳩平
	3C	猪飼 大佳	2B	矢治 多紀音
	3C	遠藤 雅也	2C	佐藤 早矢翔
	3D	近藤 亜岐	2D	伊藤 沙菜
	3D	東 龍亮	2D	藤尾 陸翔
	3D	渡邊 心	2D	大塚 美穂
	3E	梶田 莉帆	2D	渡邊 伶歩
	3F	吉田 真菜	2E	佐藤 稔己
			2F	篠宮 梨心
			2F	留目 蒼

《活動計画案》

企画名	教育学会総会	開催日	5月 日
		実施場所	60周年記念講堂
内容	教育学会学会則第4章第14条に基づき開催する。議題は、同学会則第16条に基づき、運営委員会、後援団体の2023年度決算・活動報告及び2024年度予算案・活動計画案の申請と承認、運営委員会の承認、学会員から提案されたものを行う。		

企画名	教育学科春季定例会	開催日	5月 日
		実施場所	60周年記念講堂
内容	1年生から4年生で、運営委員会が設定する一つのテーマについて話し合い、考える場を設け、新たな考えを取り入れるとともに他学年との交流を図る。		

企画名	学生・教員連絡会(夏)	開催日	未定
		実施場所	板橋キャンパス
内容	教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき年に2回開催する。学生・教員連絡会(夏)では2025年度教育学会総会で承認された運営委員会、後援団体の活動報告及び予算の中間報告を行う。		

企画名	教育学科秋季定例会	開催日	未定
		実施場所	未定
内容	学生の目線からアンケートを参考に、教育に関するテーマを考える。また、講師の方をお招きし、学会員と共に学ぶ場を設ける。		

企画名	ゼミ説明会	開催日	未定
		実施場所	未定
内容	主に2年生を対象に自分に合ったゼミ選択をする手助けを目的に開催する。各ゼミの4年生の協力を得て、ゼミの研究、活動内容を紹介してもらう。		

企画名	学生・教員連絡会(冬)	開催日	未定
		実施場所	板橋キャンパス
内容	教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき年に2回開催する。学生・教員連絡会(冬)では2025年度活動報告・決算報告と2026年度活動計画・予算申請の報告及び審議を行う。		

《教育学会の発行物》

発行物	機関紙の発行	機関紙名称	緑育
		発行頻度	年7回
内容	教育学会会則第1章第4条に基づき、機関紙を発行する。学会の行事、体験談、アンケートなどを中心に様々な情報を伝える。長期休暇を加味し、年7回の発行を予定。		

発行物	機関誌の発行	機関誌名称	教育学会誌
		発行頻度	年一回発行
内容	教育学会会則第1章第3条に基づき、機関誌を発行する。教員の論文をはじめ、学生の発表などを掲載する。		

2025年度教育学会予算案

2024年4月1日～2025年3月31日

支出の部	運営委員会		郵送代	5,000	ガソリン代(東松山)※学部便で送れなかった場合
			花束代	6,000	1500円×4人
			教育学会総会合計	11,000	
			春季定例会	企画費	10,000 備品購入
				春季定例会合計	10,000
			秋季定例会	企画費	10,000 備品購入
				花束代	3,500 講師への花束
				弁当購入代	1,000 講師への弁当購入
				お茶菓子購入代	3,000 講師へのお茶菓子購入
				秋季定例会合計	17,500
			ゼミ説明会交通費	68,000	最寄り～高坂間1人往復2000円上限。2000円×17ゼミ×2人
			公開ゼミ補助費	60,000	20000円×3ゼミナール＝60000
			公開ゼミ予備費	20,000	
			制作費	300,000	
			編集費	50,000	
			手数料	500	
			教育学会誌合計	350,500	
			印刷費	40,000	緑育印刷等 ※年末に精算
			振り込み手数料	3,000	
			雑費	30,000	帳面、備品購入等
			運営委員会合計	610,000	
	後援団体		後援団体大合宿支出合計	490,000	
			後援団体球技支出合計	200,824	
			後援団体コンサート支出合計	219,914	
			後援団体予備費合計	15,000	
			後援団体支出合計	925,738	
	その他		大学院生	未還元学会費	0
				研究支援費	28,000 来年の大学院生数が不明であるため暫定
				大学院生支出合計	28,000
			学会費返金	30,000	退学者に返金
			その他支出合計	58,000	
支出の部 合計				1,593,738	

支出合計	1,593,738	
-------------	------------------	--

次年度繰越金	-	
---------------	---	--

2025 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 浅井 俊亮

印

団体名	教育学科後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	23114034	役職名	代表
	氏名	浅井俊亮		
副責任者	学籍番号	23114122	役職名	副代表
	氏名	小熊琉聖		
	学籍番号	23114108	役職名	副代表
	氏名	榎本穂乃香		
団体構成	4年生 0 名	3年生 6 名	2年生 6 名	1年生 0 名 合計 12 名
団体構成メンバー	(2025 年 [] 月 [] 日現在)			
[3]年生	[2]年生	[]年生	[]年生	
亀田優花 23114020	門倉朱星 24114004			
高池彩花 23114008	星実幸 24114101			
古澤花乃 23114109	伊知地晶 24114124			
竹村良平 23114037	大竹蒼馬 24114011			
岡部由翔 23114125	畠山裕治 24114139			
中澤優 23114004	嶋村幸起 24114056			

活動計画案・企画案

【 A案 】

企画名	大合宿
実施場所	南房総市大房岬自然の家(仮)
実施日	9月 4(木) 5(金) 6(土) (仮)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・企画を通じて学年関係なく全力で取り組む事の楽しさを2泊3日の共同生活の中で学ぶ。 ・学年や既存の交流の枠を超えた班で企画に参加することで、自主性や協調性を育み、仲を深める。 ・「学び」の時間をつくり、将来、社会に出た際に役立つ知識を得る。 ・大合宿委員は企画力・表現力・共同性・責任感を、活動の中で学んでいく。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の立地を活かし、大自然に触れ、地域の文化を知る機会をつくり、体験する。 ・大合宿当日は、会議やレクリエーションの内容に基づき、主に野外炊事やキャンプファイヤー、レクリエーション等を行う。 ・担当の企画ごとに会議を行い、その内容をもとに全体での会議を週に1度行う。 ・施設との連携を取りつつ、大合宿当日のタイムスケジュールを作成する。 ・1泊2日の小合宿を通して、大合宿を滞りなく運営できるように綿密に確認を行う。 ・企画を考察する際、参加者ることを第一に考える。主に企画を通じて交流関係を築くきっかけを得られるか、人間性の成長のきっかけを得られるか、安全面に配慮出来ているかの3点について重視する。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・普段関わるの少ない者同士が企画に参加して活動することで、学年、クラスの壁を超えた交流関係を築き、また協調性や自主性といった人間的成长の機会を得ることができる。 ・「学び」の時間を通して、将来社会に出た際に役立つ知識を得ることができる。 ・小学校の校外学習活動のような日常生活では得られない体験を通じ、教員になってからも活かせる知識や体験を得ることができる。 ・企画を通じ、学年関係なく全力で取り組むことの楽しさを経験することができる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との協調性やコミュニケーションの大切さなど、多くの「学び」を得られるものにする。 ・合宿中での委員間の情報共有や告知を迅速かつ正確なものとする。 ・参加者に対する休憩時間の終了時刻の伝達や、委員内での本番中の人数変更などの情報共有をより強化する。 ・他団体や他学年の新しい人間関係を構築できるよう促す。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営側、参加者側ともに怪我の可能性のないよう、念入りに会議やシミュレーション、考察を行う。 ・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する。 ・怪我人、体調不良者が出了場合に備え、救急箱を用意するとともに、施設近くの病院を把握しておく、すぐ連れていくように車両も用意する。

【 B案 】

企画名	小合宿
実施場所	南房総市大房岬自然の家(仮)
実施日	8月 20(土) 21(日)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊込みという大合宿に近い環境下でシミュレーションを行い、より参加者の立場に立った対策考察や企画考察を行う。 ・実践を踏まえた企画考察を行うことで、レクリエーションが安全かつ円滑に行えるようにする。 ・施設やレクリエーションの入念な確認を行い、大合宿本番でのけが防止対策や感染症防止対策をより充分なものにする。 ・大合宿本番を想定したタイムスケジュールで行動し、委員の動きの最終確認をする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1泊2日、委員のみで大合宿当日の流れの確認や企画運営等のシミュレーションを行う。 ・大合宿本番が安全かつ円滑に行えるよう、各々が考察してきたレクリエーションを委員のみで実践する。 ・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し流れをつかむ。 ・本番と同じ流れで行い、安全面にも不足がないか確認する ・実際の施設での移動時間や、移動ルートを確認し大合宿当日に、大合宿委員全員が誘導できるようにする。 ・その後の会議で反省を行い、大合宿本番に向けて準備を行う。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大合宿本番で臨機応変な対応ができるように準備しておくことができる。 ・宿泊こみのシミュレーションを行うことで、入念な確認ができる。 ・大合宿当日と同じ施設で行うことで、施設内の把握に繋がる。 ・大合宿本番のタイムスケジュールを把握できる。 ・委員の動きの最終確認ができる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩した人がいることを想定して、薬を用意しておく等、より充分な対策をする。 ・実際の参加者を想定した動きをする。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我の可能性がないよう、入念に会議とシミュレーションを行う。 ・企画運営側、参加者側ともに怪我の可能性のないよう、念入りに会議やシミュレーション、考察を行う。 ・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する ・怪我人、体調不良者が出了場合に備え、救急箱を用意するとともに、施設近くの病院を把握しておく、すぐ連れていけるように車両を用意する。

【 シミュレーション 】

企画名	シミュレーション
実施場所	緑山キャンパス 体育館・グラウンド
実施日	2025年 2月中旬から8月下旬
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・当日を想定したレクリエーションを行うことで、安全かつ円滑に行えるようにする。 ・レクリエーションの改善策を見つける。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大合宿委員で、大合宿本番が安全かつ円滑に行えるように各々が考察してきたレクリエーションを実践する。 ・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し雰囲気をつかむ。 ・本番と同じ流れで行い、安全部に不足がないか確認する。 ・その後の会議でシミュレーションの反省を行い、大合宿本番に向けて準備していく。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大合宿本番に臨機応変な対応ができるように準備しておくことができる。 ・レクリエーションの改善点を見つけることができる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する施設を緑山キャンパスに統一する ・体調を崩した人が出ることを想定して、薬を用意しておくなど、より充分な対策をする。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我の可能性がないよう、入念に会議とシミュレーションをおこなう。 ・企画運営側、参加者側ともに怪我の可能性のないよう、念入りに会議、シミュレーションをおこなう。 ・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する。 ・怪我人・体調不良者が出了場合に備え、救急箱を用意するともに、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていくように車両も用意しておく。

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2025 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 中澤 優

印

団体名	教育学科後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	23114034	役職名	代表
	氏名	浅井 俊亮		印
会計責任者	学籍番号	23114004	役職名	会計
	氏名	中澤 優		印
後援助成金予算案総額	490,000	円		

補助金使用用途及び申請額

【 A案 】

項目	詳細	金額
企画費	・1日目、2昼、2夜、3日目、通し。開閉会式 各15,000円×6=90,000円	90,000 円
野外炊飯用具費	・ペーパー 110円×33=3630円 ・ダスター 110円×11=1210円 ・スポンジ 110円×3=330円 ・割りばし 110円×4=440円 ・紙コップ 110円×10=1100円 ・洗剤 110円×2=220円 ・ハンドソープ 110円×3=330円 ・クレンザー 110円×5=550円 ・ステンレスたわし 110円×11=1210円 ・紙皿 110円×2=220円	9,240 円
医療費	・冷えピタ 500円×1=500円 ・紺創膏(大) 500円×1=500円 ・紺創膏(小) 500円×1=500円	1,500 円
交通費	・緊急車両ガソリン代(往復) 10,000円×1=10,000円 ・緊急車両レンタル代 50,000円×1=50,000円 ・緊急車両有料道路代(往復) 10,000円×1=10,000円 ・打合せ車両レンタル代 15,000円×1=15,000円 ・打合せガソリン代(往復) 5,000円×1=5,000円 ・打合せ有料道路代(往復) 10,000円×1=10,000円	100,000 円
文房具費	・テープ、ペン、画用紙、絵具、ラミネート	20,000 円
施設費	・キャンプファイヤー 5,000円×1=5,000円	5,000 円
雑費		4,260 円

合計

230,000 円

補助金使用用途及び申請額

【 B案 】

項目	詳細	金額
施設費	・キャンプファイバー 5,000円×1=5,000円	5,000 円
交通費	・バス代 139,000円×1=139,000円 ・バス有料道路代(往復) 31,540円×1=31,540円 ・バス消費税 13,900円×1=13,900円 ・緊急車両ガソリン代(往復) 10,000×1=10,000円 ・緊急車両レンタル代 35,000円×1=35,000円 ・緊急車両有料道路代(往復) 10,000円×1=10,000円	239,440 円
運転手宿泊費	・運転手宿泊費 10,000円×1=10,000円 ・運転手食事代 2,000円	12,000 円
雑費		3,560 円

合計

260,000 円

貴団体の予算申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

2025 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 村岡 佑磨

印

団体名	教育学科後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	23114027	役職名	代表
	氏名	村岡 佑磨		
副責任者	学籍番号	23114007	役職名	副代表
	氏名	松浦 玲希		
団体構成	4年生 0 名	3年生 11 名	2年生 10 名	1年生 0 名 合計 21 名

団体構成メンバー (2025 年 [] 月 [] 日現在)

[3] 年生

佐藤 耀	23114006	佐藤 丈	24114010
松浦 玲希	23114007	長谷 心優	24114021
金子 侑生	23114025	和田 歩夢	24114027
村岡 佑磨	23114027	大槻 麗和	24114032
坂本 海斗	23114032	加藤 愛理	24114042
元木 千乃	23114042	野中 晴陽	24114057
甲斐田 紗依	23114044	高坂 明香	24114058
谷川 実梨	23114047	田村 向日葵	24114060
小田切 美空	23114051	安川 和希	24114123
若林 玲久	23114065	鉢 恵真	24114143
櫻井 和貴	23114094		

[2] 年生

活動計画案・企画案

【 活動計画・企画 】

企画名	球技大会
実施場所	・秋季大会… 緑山キャンパス ・冬季大会…東松山キャンパス総合体育館
実施日	・秋季大会…9月21日　・冬季大会…12月14日
目的	・同学年、他学年の交流する機会を増やす。 ・体を動かす場を提供し、運動する楽しさを共有する。 ・スポーツや運動、体の健康に関わる企画を体験することで、将来の糧となる知識を身につける。
内容	・秋大会、冬大会の2回、球技大会を開催予定。 ・2024年の大会事後アンケートなどから参加者の意見を参考に、各大会の種目や企画を決定する。 ・シミュレーションや会議を通して、未経験者や経験者に関係なく、すべての参加者が楽しめる球技大会ならではのルールや種目を決める。 ・球技大会時に、スポーツや運動、健康に関連した企画を行う。
効果	・スポーツを通して同学年、他学年と交流し、親睦を深める。 ・健康な体づくりの重要性を再確認し、自らの健康管理に关心を持たせる。 ・私生活、学校生活では体験できないような企画や実践的な活動を通して、視野を広げると共に、より一層深い学びを得る。
改善策	・秋大会雨天時の代替案を決めおく。 ・球技大会当日での参加者の遅刻や早退の管理を徹底する。 ・球技大会終了後の参加者用アンケートを紙だけではなく、Googleフォーム上でも回答してもらい、次回以降の球技大会の改善に充てる。
安全対策	・救急道具を用意し、適切な手当てができるようにする。 ・保健係だけでなく全員が、怪我人が出た際の搬送病院や、対応について理解する。 ・熱中症や防寒対策を、各自しっかりと行うように参加者に呼びかけをする。 ・種目を行う前の準備体操を入念に行い、さらに各自での実施を促す。 ・試合中の危険な行為や、暴言など相手を挑発する行為に対して強く注意する。 ・マスクの着用は参加者に判断を委ね、試合後などのこまめな手洗い、うがい、アルコール消毒への協力を呼びかける。

貴団体の申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2025 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

坂本 海斗 印
申請者
元木 千乃 印

団体名	教育学科後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	23114027	役職名	代表
	氏名	村岡 佑磨		
会計責任者	学籍番号	23114032	役職名	会計
	氏名	坂本 海斗		
	学籍番号	23114042	役職名	会計
	氏名	元木 千乃		
後援助成金予算案総額	200,824 円			

補助金使用用途及び申請額

【 予算案 】

項目	詳細	金額
印刷代	委員用しおり/委員用ルールプリント 2円×1,000×2回=4,000円	4,000 円
緊急車両代 (レンタカー)	レンタル代2台前泊20時～翌20時2台10,000円×2=20,000円 ガソリン台5,000円×2=10,000円 球技大会開催2回につき(20,000+10,000)×2=60,000円	60,000 円
用具代	コープボールのゴール代16,456円×4=65,824円	65,824 円
企画費	講習参加費 15,000円	15,000 円
医療費	コールドスプレー、消毒液、ヒヤロン、スポーツドリンクの粉16箱 10,000円	10,000 円
シミュレーション代	東松山市民体育館代 2,400×10回=24,000	24,000 円
文房具代	養生テープ/布テープ /色ペン 8,000円	8,000 円
参加者景品代	景品 4,000円	4,000 円
雑費	その他の緊急時の費用	10,000 円

合計

200,824 円

貴団体の予算申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

2025 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 1 月 27 日

申請者 酒井 祥大

印

団体名	教育学科後援団体 コンサート			
団体責任者	学籍番号	23114113	役職名	代表
	氏名	酒井 祥大 印		
副責任者	学籍番号	23114069	役職名	副代表
	氏名	庄司 真 印		
	学籍番号	22114020	役職名	副代表
	氏名	田野 五星 印		
団体構成	4年生 5 名	3年生 19 名	2年生 13 名	1年生 [REDACTED] 名 合計 37 名
団体構成メンバー	(2024 年 12 月 30 日現在)			
[4]年生	[3]年生	[2]年生	[1]年生	
宮崎 隼成 22114002	福島 樺志 23114001	山中 真緒 24114006		
田野 五星 22114020	山崎 光 23114010	善光 萌々香 24114018		
須貝 菜央 22114046	細井 雄也 23114011	岸 玲奈 24114019		
有賀 沙也可 22114049	相馬 百恵 23114013	渡邊 獅成 24114026		
遠矢 春乃 22114107	長岡 遼青 23114023	亀山 心美 24114030		
	北岡 大樹 23114041	福田 明香里 24114039		
	前田 陽 23114057	高橋 悠 24114080		
	高橋 涼介 23114059	尾白 大和 24114084		
	成澤 朋 23114060	高橋 優姫 24114089		
	三好 雛菜 23114063	下條 未来 24114107		
	庄司 真 23114069	佐藤 稔己 24114117		
	新井 真一郎 23114080	斎藤 優月 24114135		
	中田 健太 23114081	佐取 陽太 24114137		
	井口 韶 23114090			
	岸根 明花 23114112			
	酒井 祥大 23114113			
	山崎 青空 23114123			
	梶田 莉帆 23114126			
	船水 悠花 23114133			

活動計画案・企画案

【 活動計画・企画 】

企画名	第49回教育学科コンサート
実施場所	東松山キャンパス60周年記念講堂(予定)
実施日	2025年11月15日(土) (未定)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが音楽を楽しむことで、個々の音楽活動への関心を深める。 ・音楽授業の成果を発揮する。 ・学会員が主体となって協力し、発表を作り上げる。 ・学科内でクラス、学年を超えた交流を深める。 ・共催実行委員会の成果を生かして教員、学生との学科内のつながりを深める。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本番が円滑に進むように会議(週1回)、会場設営、リハーサルを行う。 ・共催実行委員を通して学科のつながりを深めるよう務める。 ・参加者が楽しく、学びある行事づくりを務める。 ・本番当日は各団体の発表の運営を行う。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・一つのものをみんなで協力し作り上げることで、感動や達成感共有する。 ・クラス単位での交流を深める。 ・学科の活動として、教育学科の団結力を高める。 ・一つの作品を作る過程を通して、日常的な学級づくりや音楽会、学芸会などを運営する力を養う。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・本番までにしっかりとリハーサルを行う。 ・各団体や参加者と十分な連絡を取る。 ・教員との連絡を早めに行う。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・救急箱を用意し、けが人が出た場合に備える。 ・講堂内の空気循環のため、換気を行う。 ・ステージ上の配線をガムテープで固定する。

貴団体の申請を受理しました。

[] 年 [] 月 [] 日

教育学会運営委員会委員長

印

2025 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 福島 樞志 印

団体名	教育学科後援団体 コンサート			
団体責任者	学籍番号	23114113	役職名	代表
	氏名	酒井 祥大		印
会計責任者	学籍番号	23114001	役職名	会計
	氏名	福島 樞志		印
後援助成金予算案総額		219,914	円	

補助金使用用途及び申請額

【 予算案 】

項目	詳細	金額
広告代	プログラムのコピー用紙代 1380円 ポスターの印刷代 1000円	2,380 円
オープニングアクト代	小道具、消耗品等	5,000 円
文房具代	銀テープ 278円×25個=6950円 養生テープ 250円×25個=6250円 紙ガムテープ 110円×2個=220円 画用紙、模造紙、色画用紙 8000円 ビニールテープ 58円×4=232円 カラーフィルム 2000円 クリアファイル 2149円 油性マーカー 1980円	27,781 円
来賓代	花束代 5900円	5,900 円
横看板製作費	絵具 550×30個=16500円 用紙 5000円 水張りテープ 1000円 クリアコップ 663円	23,163 円
映像関係製作費	大東スクラム撮影代	58,190 円
企画費	各クラス企画材料費 2500円×15クラス=37500円	37,500 円
緊急車両代	レンタカ一代 10000円	10,000 円
ピンマイクレンタル代	ピンマイク×2個×7日	40,000 円
雑費	10000円	10,000 円

合計

219,914 円

貴団体の予算申請を受理しました。

年 月 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

2025 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 [] 月 [] 日

申請者 田野 五星

印

団体名	教育学科共催行事実行委員会											
団体責任者	学籍番号	22114020		役職名	委員長							
	氏名	田野 五星			印							
副責任者	学籍番号	22114107		役職名	副委員長							
	氏名	遠矢 春乃			印							
団体構成	4年生	5 名	3年生	21 名	2年生	[] 名	1年生	[] 名	合計	26 名		
団体構成メンバー (2025 年 [] 月 [] 日現在)												
[4] 年生			[3] 年生			[2] 年生			[1] 年生			
田野 五星	22114020	福島 権志	23114001	参加希望者のみ			参加希望者のみ					
宮崎 隼成	22114002	中田 健太	23114081									
須貝 菜央	22114046	庄司 真	23114069									
遠矢 春乃	22114107	井口 韶	23114090									
有賀 沙也可	22114049	山崎 光	23114010									
		細井 雄也	23114011									
		船水 悠花	23114133									
		相馬 百恵	23114013									
		長岡 遼青	23114023									
		岸根 明花	23114112									
		北岡 大樹	23114041									
		酒井 祥大	23114113									
		前田 陽	23114057									
		高橋 涼介	23114059									
		成澤 朋	23114060									
		山崎 青空	23114123									
		新井 真一郎	23114080									
		梶田 莉帆	23114126									
		三好 雛菜	23114063									
		遠藤 雅也	23114082									
		東 龍亮	23114099									

活動計画案・企画案

【 活動計画・企画 】

企画名	教育学科共催実行委員会
実施場所	教育学科研究スペース
実施日	月1度程度
概要	後援団体の上位組織として去年度と同様、「教育学科・共催行事実行委員会」の設置を引き続き提案する。共催行事実行委員会とは、主にコンサート委員の3・4年生と教員3名程度を構成員とする組織であり、主としてコンサートの企画、仕組みの検討等を行うことを目的としている。教育学科コンサートは学科行事であり、教員と学生の双方で創り上げていくイベントであり、両者間の情報連携が必要不可欠である。したがって、教員と学生がコミュニケーションをとり「ともに語りあう場」を創ることを軸にコンサート本番までの準備を行っていきたいと考える。なお、コンサート本番の会場設営等の実務に関しては、従来通りコンサートがその役割を受け持つ。
目的	・教員と学生とのやり取りを活発化させ、学生と教員が一体となって盛り上げ、参加できるイベントづくりをする。 ・教員と学生との間の連携を高め、すべての先生方に対して連絡漏れのないよう橋渡しを行う。 ・教員と学生が対等な関係で建設的に議論できる場を設け、意思疎通と情報共有を図るとともに、コンサートの質の向上と新たな試みを検討するための場をつくる。
内容	・日時、スローガン等の決定 ・審査基準や審査方法の決定 ・コンサートでの決定事項の共有 ・問題点や困っている事項の議論、教員からのアドバイスや提案 ・スケジュールの確認・決定
効果	・教員とのやり取りを活発化させ、情報共有において連絡漏れ等を防ぐ ・教員と学生の建設的な議論を通して、幅広い意見を踏まえながらより質の高いコンサートを創り上げる ・コンサートを経ての反省を共に行い、問題点、改善点を共に模索することができる。
改善策	・教員との連絡の行き違いが生じることがあったため、全員が見える場での連絡を徹底する。 ・参加する委員が不明確であったため、役割の重要性を再確認し、主体的にかかわれるようにする。 ・4年生の教育実習などが重なった際でもスムーズに進行できるように、事前に代役を立てておく体制を整える。 ・会議の内容の周知が足らずに認識の行き違いが生じることがあったため、会議の議事録の周知の徹底や口頭での報告を徹底する。

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

機関紙『緑育』の発行形態変更の提案

●提案内容

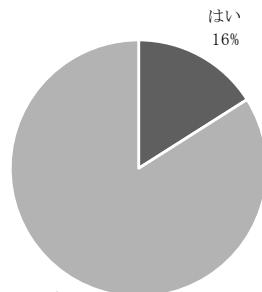
現在、DBmanabaのみで配信している機関紙『緑育』を以前のような紙媒体での発行と従来のDBmanabaでの発行に変更することをここに提案する。

●目的

2023年度及び2024年度はDBmanabaにて『緑育』を配信していた。しかし、多くの学会員が『緑育』を配信したこと気に付かず、右記のアンケート結果のようになってしまった。また、2024年度に発行した緑育が2号だったことも読者数低下につながったのではないかと考える。

これらのこと考慮し、変更後は発行回数を策定し、発行形態を変更することで『緑育』の読者増加を目指す。

2024年度に発行した『緑育』を読んだことがありますか？



回答:一部学生

●変更後の方向性

発行形態を紙媒体とDBmanabaでの発行とし、基礎演習などを用いて運営委員が各クラスへ配布する。3、4年次生には教育学演習の時間の前後などを利用し配布する。

発行月をあらかじめ設定し、期日までに担当運営委員が発行作業を行うものとする。発行頻度及び発行回数は以下の通りを予定している。

	名称	発行月	主な内容	備考
①	入学おめでとう号	4月	教育学会の紹介、教員挨拶 など	
②	6月号	6月	総会決議内容、春定事後資料 など	
③	7、8月号	8月	大合宿・球技開催告知 など	夏季休暇期間のため合併
④	9月号	9月	ゼミ説明会開催告知 など	
⑤	10月号	10月	コンサート開催告知 など	
⑥	11月号	11月	秋定事後資料、球技開催告知 など	
⑦	年末年始号	1月	1年の振り返り など	春季休暇期間のため合併

●備考

機関紙『緑育』は教育学会則第1章第4条2項に基づき今後も発行するものとする。

教育学会則改正の提案

●改正内容

教育学会則と会費規定において整合性を取るための条文改正

●改正理由

2024年度教育学会総会にて教育学会則会費規定第3条2項を「編入学者は、入学時に学会費を納入する際に、編入学時の学年に応じて、学会費の減免を受ける。」という条文に改正した。しかし、教育学会則第2章第7条3項の「編入学者は、入学時に納入した額から在学予定期間の会費を控除した額の返還を受ける。」という条文との間で齟齬が発生する状態となつた。以上のことから教育学会則第2章第7条3項の条文を以下の通りに改正すること提案する。

●条文の新旧対照表

改正前	改正後
<p>教育学会則第2章 会員</p> <p>第7条 本会は、会費の納入と返還について次のように定める。なお、その金額は別に定めるものとする。</p> <p>1 正会員及びPG会員は、それぞれの課程への入学時に所定の額を会費として納入する。その際、正会員の会費とPG会員の会費は、それぞれ別途に管理・執行するものとする。</p> <p>2 正会員及びPG会員が所定の在学期間を待たずに退学または除籍となったときは、納入した会費の一部の返還を受ける。なお、5月1日において在学する学生は当該学年に1年間在学したものとみなす。</p> <p>3 編入学者は、入学時に納入した額から在学予定期間の会費を控除した額の返還を受ける。</p>	<p>教育学会則第2章 会員</p> <p>第7条 本会は、会費の納入と返還について次のように定める。なお、その金額は別に定めるものとする。</p> <p>1 正会員及びPG会員は、それぞれの課程への入学時に所定の額を会費として納入する。その際、正会員の会費とPG会員の会費は、それぞれ別途に管理・執行するものとする。</p> <p>2 正会員及びPG会員が所定の在学期間を待たずに退学または除籍となったときは、納入した会費の一部の返還を受ける。なお、5月1日において在学する学生は当該学年に1年間在学したものとみなす。</p> <p>3 編入学者は、<u>編入学時の学年に応じて減免された額の納入をする。</u></p>

※傍線部は改正部分

2024年度 教育学会秋季定例会開催報告

行事名	教育学会秋季定例会	
統括	学籍番号	22114060
	氏名	小川 祐哉
副統括	学籍番号	22114080
	氏名	種田 貴志

活動内容

実施日	2024 年 10 月 16 日
実施場所	大東文化大学東松山キャンパス 60周年記念講堂
活動内容報告	株式会社ニューキャンパス代表 杉山文野さんをお招きし、「LGBTQ+～広げよう虹色の輪を～」のテーマで今年度の秋季定例会を開催した。対面の講義形式で行い、「LGBTQ+」について杉山さんの体験を踏まえたお話や、昔と現在でLGBTQ+に対する世間の反応や対応はどのように変わってきたのか、そしてこれから私たちにできることは何なのかなど、約90分間の講演をしていただいた。秋季定例会後の事後アンケートから、参加者は1年生39名、2年生39名、3年生58名、4年生22名の計158名。また参加者の70%が非常に満足、28%が満足、2%が普通という満足度を回答した。
成果	「参加者の感想から」 ・LGBTQ+という言葉は知っていたけれど、当事者の人達の孤独感や成長過程での葛藤、恋愛面での苦悩は知らなかった。今回の講演できましたことを知ることができて良かった。 ・性のあり方は目に見えない、という言葉が印象に残った。目に見えないからこそ、知識をつけることで理解したり、受け入れができるようにしたい。 ・杉山さんの話を聞いて、日本のLGBTQ+の理解や考え方がまだまだ足りていないと衝撃を受けた。 ・二人で親になるという考え方方が一般的ですが、三人で親になるという新しい家族の形も素敵だと思い、多様性について深く学ぶことができた。 など、参加者一人ひとりが「LGBTQ+」について杉山さんの講演から多くの学びを得ることができ、理解を深めることができた。
反省点・改善点	・秋季定例会の予算問題。(交通費など。) ・進捗状況が委員全体に伝わっておらず、一部の委員が知っているなどの問題が起きた。全体への共有をすべきであった。 ・事前にテーマの内容についてもっと知識をつけておくべきであった。 ・仕事内容の差 ・事後アンケートの参加者の感想を委員内で共有してよいか。(今回は内容的にも配慮が必要だったのではないか。)

2024年度 ゼミ説明会開催報告

行事名	ゼミ説明会	
統括	学籍番号	22114008
	氏名	発知 里世音

活動内容

実施日	2024 年 10 月 21 日
実施場所	東松山キャンパス 60周年記念講堂
活動内容報告	来年度からゼミナールに所属する2年生に対して、ゼミナールについて知る機会を作るために東松山キャンパスでゼミ説明会を開催した。今年はすべてのゼミナールの活動等について知った上でゼミ選択をしてもらえることを目標としていたため、個別相談会の前にスクリーンを用いた全ゼミナールの説明を聞いてもらう時間を設けた。また、ゼミ選択に対する情報源として冊子の作成を行った。各ゼミナールに自分が所属しているゼミについての説明等をまとめた資料を作成してもらい、それらを冊子にし2年生に配布した。
成果	全ゼミナールの説明を聞く時間を設けたことで、今まで情報が得られていなかったゼミナールの活動内容等についても知ることができゼミ選択の幅を広げられた。また、ゼミ生である学生と話すことでそのゼミナールの良さや雰囲気を感じることができるとともに学生の間の交流を行うことが出来た。
反省点・改善点	PowerPointの作成にあたり、説明する項目を統一していなかったため、ゼミナールごとに異なる部分があった。それにより、比較がしづらかったという意見があった。そのため、来年度PowerPointを用いてゼミ説明を行う際は項目を指定し、統一していくたい。 今年度は、ゼミ説明会を東松山キャンパスで開催したため交通費を支給したが、その際に二者確認が出来ていない点があった。来年度は、二者確認を徹底し交通費を支給することに努めていきたい。

2025年度 教育学会春季定例会開催申請

行事名	教育学会春季定例会	
統括	学籍番号	24114025
	氏名	伊藤 沙菜
副統括	学籍番号	24114094
	氏名	大塚 美穂

活動内容

実施予定日	未定
実施場所	未定
春季定例会とは	新入生を歓迎し、学年を超えた交流の機会を目的として、開催する。教育学科全体の親睦を深めるとともに、その後の学習と生活に有益な影響を与える場を設ける。
テーマ	AIの活用について
テーマ設定の背景	近年、高校や大学における教育の現場では、AI技術の活用が急速に進んでいる。特に、大学では学生たちが「ChatGPT」などの高度なチャットボットを利用し、レポート作成や学習の補助として活用するケースが増えてきた。AIは大量の情報を瞬時に整理し、わかりやすく提示することができるため、適切に使用すれば非常に有益なツールとなる。例えば、論文の構成を考えたり、資料を要約したりする際にAIを用いることで、時間を大幅に短縮し、より効率的な学習が可能となる。しかし、その一方で、AIを不適切に使用したことにより問題を引き起こす学生も増えているのが現状である。たとえば、AIによるレポートの丸写しや不正行為を行い、それが発覚して退学処分を受けるケースも報告されている。また、AIが提供する情報には誤りが含まれる可能性があるため、内容を鵜呑みにすることの危険性も指摘されている。さらに、AIを過信しすぎると、自分で考える力を養う機会を失い、学習の本質が損なわれる可能性もある。このように、AIは非常に便利な技術である一方で、使い方を誤ると大きな問題を引き起こすリスクも伴っている。そのため、AIの利点と危険性の両面を正しく理解し、適切に活用することが求められている。
目的	今回の定例会の目的は、AIの利便性と危険性を正しく理解し、適切に活用する意識を生徒たちに持ってもらうことである。現在、AIは学習や研究の場面で非常に強力なツールとして活用されているが、その利用には慎重さが求められる。AIを単なる便利な道具と捉えるのではなく、適切な判断のもとで使用しなければ、学習の本質を損ねるだけでなく、学業上の不正行為に繋がるリスクもある。特に、近年ではAIの不適切な利用によって処分を受ける学生が増えていることからも、その危険性について再認識することが重要である。また、本活動を通じて、生徒たちがAIの基本的な仕組みを理解し、新たな活用方法を模索するきっかけを提供することも目的の一つである。AIは単に文章を作成するためのツールにとどまらず、データ分析、創造的なアイデアの発想支援、プログラミングの補助など、さまざまな分野で活用できる可能性を秘めている。そのため、AIの持つ可能性を正しく認識し、それを有意義に活用することで、学習や研究の幅を広げることができる。本活動を通じて、生徒たちに「AIは便利であるが、常にリスクと隣り合わせである」という認識を深めてもらい、倫理的かつ創造的にAIを活用できる人材の育成を目指す。

教育学会学会則

第1章 総則

第1条 〈名称〉

本会は、大東文化大学教育学会と称する。

第2条 〈本部〉

本会の本部は、東京都板橋区高島平1-9-1
大東文化大学教育学科に置く。

第3条 〈目的〉

本会は、文学部教授会の承認に基づき、教育
学の研究を推進し、あわせて会員相互の交
流・提携を計ることを目的とする。

第4条 〈事業〉

本会は、会則第3条の目的を達成するため、
次の事業を行う。
1 研究会及び講演会
2 学会誌及び機関紙の発行
3 その他要請に応じて、本会の目的の達成
に必要な事業又はその後援

第5条 後援については、後援規約にこれを定める。

第2章 会員

第6条 〈会員構成〉

本会は、次の四類の会員によって構成され
る。
1 [正会員]本学教育学科在学生
2 [PG会員]本学大学院教育学専攻在学生
(※ PG =Post Graduate)
3 [特別会員]本学教育学科専任教員、本学
教育学科特任教員
4 [協力会員]本学教育学科担当事務職員

第7条 〈会費〉

本会は、会費の納入と返還について次のように定める。なお、その金額は別に定めるものとする。
1 正会員及びPG会員は、それぞれの課程
への入学時に所定の額を会費として納入
する。その際、正会員の会費とPG会員
の会費は、それぞれ別途に管理・執行する
ものとする。
2 正会員及びPG会員が所定の在学期間を
待たず退学または除籍となったときは、
納入した会費の一部の返還を受ける。な
お、5月1日において在学する学生は当
該学年に1年間を在学したものとみなす。
3 編入学者は、入学時に納入した額から在
学予定期間の会費を控除した額の返還を
受ける。

第8条 〈会員の権利〉

本会の全ての会員は、本会の事業の運営につ
いて発言する権利を有する。但し、正会員以
外の各類の会員は、本会の機関決定において
決議権をもたない。

第9条 〈会員の権利〉

本会の全ての会員は、本会の機関の傍聴権、
関係書類の閲覧権及び関係行事への参加権を
有する。

第10条 〈会員の義務〉

本会の全ての会員は、本会の会則及び総会の
決議に服さなければならない。但し、総会の
決議内容が教員の学科協議会の意向と齟齬を
きたした場合は、その限りではなく、別途定
める調整手続きに委ねられる。

第3章 機関及び役員

第11条 本会は、第3条の趣旨を実現するため、次の 機関を置く。

- 1 総会
- 2 運営委員会
- 3 学生・教員連絡会

第12条 本会は、次の役員を置く。

- 1 会長 1名 (教育学科主任)
- 2 運営委員長 1名 (正会員)
- 3 会計監査員 2名 (正会員1名、非正会
員1名)

なお、各役員に関する規定の詳細は、第7章
の補充規定にこれを定める。

第4章 総会

第13条 〈総会の性格〉

総会は本会の正式決議機関である。

第14条 〈開催の条件〉

総会は、原則として年度内に一回、定例総会
として開催される。また、以下の条件のいづ
れかを満たした場合には、臨時総会が開催さ
れる。

- 1 正会員の1/3以上の要求があった場合
 - 2 運営委員会が決議によって開催を求めた
場合
 - 3 会長が総会開催を必要と認めた場合
- なお、総会の開催にあたっては、会長の承認
をもとに、運営委員長がこれを召集する。

第15条 〈総会出席義務と委任状〉

正会員は、原則として全員が総会に出席する
ものとし、議事は出席正会員の過半数によっ
て可決するものとする。

第16条 〈総会の任務〉

総会は、次の事項を審議・議決する。

- 1 運営委員会役員の承認
- 2 決算報告・予算案の審議と承認
- 3 第4条に基づく諸事業の活動報告と活動
計画の審議と承認
- 4 会計監査員 (学生・教員とも) の承認
- 5 会則の改廃
- 6 その他、会長及び運営委員会が認めた必
要事項

第17条 〈総会の運営〉

総会の運営は、運営委員会の責任によって執
り行われる。

第5章 運営委員会

第18条 運営委員会は、第3条・第4条の規定に基づき、 本会の年間業務が円滑に進められるよう活動す る責任執行機関である。

第19条 運営委員会は、原則として各クラス1名以上の正

- 会員代表によって構成される。但し、事情によつて委員の増員を妨げない。
- 第20条 運営委員会の任期は、総会で承認された第2学年次から2年間とする。任期途中に委員を交代補充する場合は、残任期間をその任期とする。なお、1年次は準運営委員として活動し、運営委員会において決議権を有する。準運営委員は、各クラスと運営委員会とによって承認されなければならない。また、任期を終えた運営委員は在学中、決議権をもたない参与として運営委員会に協力するものとする。
- 第21条 個別の運営委員が任期中に辞任する場合は、クラスの了承を得た上で運営委員会にその旨を申請し、承認を得なければならない。また、委員を補充する場合には、4週間以内に同じ選出母体（クラス）より補充するものとする。
- 第22条 個別の運営委員の辞任に際しては、当該クラスに1名以上の運営委員が残任していかなければならない。
- 第23条 運営委員会の人数構成において、第4条に基づく本会の事業執行に支障をきたすと判断されるような事情が生じた場合には、運営委員長は、委員の増員をクラスに要請できる。この要請が行われた際には、4週間以内に必要な人員の更なる補充を行うものとする。
- 第24条 運営委員会は、会務の執行のため、委員の互選により次の常任役員を置く。選出された役員は、総会に報告し承認されなければならない。役員の任期は1年とするが、再任を妨げない。
- 1 委員長 1名
 - 2 副委員長 2名
 - 3 書記 2名
 - 4 会計 2名
- 第25条 運営委員会は、原則として学期中、毎週1回開催するものとし、委員長がこれを招集する。
- 第26条 運営委員会の開催にあたり委員が欠席する場合には、委任状をもって出席扱いとすることができる。議事は、出席委員の過半数の賛成をもって可決し、可否同数の場合は委員長の決するところとする。
- 第27条 運営委員会の議事を傍聴する権利は、四類の会員全てに認められる。
- 第28条 書記役員は、次のものを含む本会に関する一切の公的書類の記録・保管・引き継ぎにあたらなければならない。
- 1 会則
 - 2 運営委員会その他の会議録
 - 3 学会事業に関する活動記録
 - 4 公式通信文その他の公的記録
- 第29条 運営委員会役員として不適格と疑われる事態が生じた場合は、正会員の1/4以上の署名をもってリコールを申請することができる。この申請は可及的速やかに第14条の規定に基づき総会に付され、総会出席者の2/3以上の賛成をもってリコールは成立する。リコールが成立した場合は、4週間以内に改選を実施する。

第6章 会計

- 第30条 本会の会計は、会費及び寄付金をもってこれに充

- てる。
- 第31条 本会の会計の収支決算は会計監査員がこれを監査し、その結果を総会に報告しなければならない。
- 第32条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第33条 会計役員は、協力会員（事務職員）の援助を仰ぎつつ、本会に関する一切の会計の出納業務にあたる。また、会計に関する一切の記録の保管に責任をもつ。

第7章 補充規定

- 第34条 本会会長は、教育学科主任とする。会長は、通常会務の重要事項について運営委員長から相談をうけ意見を述べるとともに、対外的に本会を代表する。
- 第35条 本会の活動を支援するため、教育学科（教員組織）は、その職務分担の内に、教育学会担当委員を毎年少なくとも3名配置する。そのうちの1名が、本会の会計監査員を務める。
- 第36条 本会と教育学科との連携・協力を強めるため、教育学会「学生・教員連絡会」を設置し、原則として年度内に2回開催するものとする。この連絡会は、教員側担当委員チーフと学生側運営委員長との合意に基づいて共同招集され、会の運営も共同司会によるものとする。招集される出席者は以下のとおりとする。
- 1 正会員（学生）運営委員、常設後援団体代表、その他必要と認められた団体代表
 - 2 特別会員（教員）学会担当委員
 - 3 協力会員（事務職員）文学部事務室教育学科担当職員
- なお、本連絡会を傍聴する権利は、四類の会員全てに認められる。
- 第37条 本会の事業を推進するにあたって、正会員集団（学生側）の意向と特別会員集団（教員側）の意向に齟齬が生じた場合には、上記の「学生・教員連絡会」において調整を図るものとする。なお、調整の結果として合意の得られない事項は、執行を見合せなければならない。この調整は、合意の得られるまで続行されるものとする。

第8章 付則

- 第38条 本会則は
- | | |
|-------------|----------|
| 昭和47年4月1日 | 制定 |
| 昭和52年4月1日 | 一部制定 |
| 昭和53年11月28日 | 全面改正 |
| 昭和59年4月27日 | 全面改正 |
| 平成元年6月21日 | 全面改正 |
| 平成3年11月19日 | 一部制定及び改正 |
| 平成16年4月28日 | 一部改正 |
| 平成26年5月14日 | 全面改正 |
| 平成30年5月16日 | 一部改正 |
- 第39条 本会則を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。

後援規約

- 第1条 教育学会は、会則第3条に定められた目的に該当すると認められる活動に対して、当該団体及び個人の申請により、その活動を後援する。
- 第2条 後援を申請する団体及び個人（以下申請を認められた団体を後援団体と呼ぶ）は、次の条件を満たしていなければならない。
1. 教育学会員によって構成されている団体及び個人であること。
 2. 活動・事実の目的が会則第3条に該当すること。
 3. 原則として、全会員が参加できる活動事業であること。
- 第3条 1. 後援団体は、運営委員会で指定する申請期間内に同委員会に申請することを原則とする。申請期間とは、申請用紙を受理する期間であり、後援を承認するか否かの審議は、別日に行うものとする。
2. 上記の申請期間の例外として、活動予定期の30日以前に運営委員会に申請したものに関しては、これを考慮する。
- 第4条 1. 後援に関する一切の審議事項は、出席委員の過半数の賛成をもって決定する。
2. 運営委員が後援団体に属している場合は、後援承認の審議の議決に関与できない。
- 第5条 運営委員会は、常に後援団体の活動を把握しないければならず、そのため必要に応じて報告の要請を行う。
- 第6条 1. 後援団体は、必要に応じて運営委員会の要請を受け、報告を行う。
2. 交付した補助金が本規約第1条に定められた主旨にそって使われているかを確認する。
3. 運営委員会は、後援団体の企画に対する意見を述べることはできない。但し、後援団体の要望があるときは、その限りではない。
- 第7条 1. 後援団体に対しては運営委員会の規定に基づき補助金を交付する。
2. 補助金を交付される後援団体は、会計責任者を置かなければならない。
3. 補助金を交付される後援団体は、運営委員会に予算案を提出しなければならない。
4. 補助金は、運営委員会の査定により、年間の後援費の中からこれを交付する。
- 第8条 運営委員会は後援団体の報告を受けた後、その報告に基づいて後援団体の行った活動について意見を述べることができる。
- 第9条 後援団体は、活動終了後運営委員会の定めた期日までに同委員会に収支決算を含めた活動報告書を提出しなければならない。

〈付則〉

1. 本会則は
- 昭和53年5月23日 制定
 - 昭和56年5月20日 一部改正
 - 昭和59年4月27日 一部改正
 - 昭和61年4月24日 一部改正
 - 平成元年6月21日 一部改正
 - 平成3年11月19日 一部制定及び改正
 - 平成10年6月1日 一部改正

平成25年5月15日 一部改正

2. 本規約を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。

教育学会会費規程

第1条 〈趣旨〉

教育学会会則第7条に基づき、会費の金額、納入および返還に関する規程を定める。

第2条 〈納入〉

正会員およびPG会員は、入学手続き時に7,000円を会費として納入する。

第3条 〈返還〉

会費の返還額は次の通りにする。

1. 学生会員・PG会員が、所定の在学期間を待たず退学または除籍となったときは、当該学生会員が納入した会費の額から次の額の返還を受ける。

	正会員	PG会員
第1学年次(5月1日以降)に退学・除籍	6,000円	4,000円
第2学年次(5月1日以降)に退学・除籍	4,000円	0円
第3学年次(5月1日以降)に退学・除籍	2,000円	
第4学年次(5月1日以降)に退学・除籍	0円	

2. 編入学者は、入学時に学会費を納入する際に、編入学時の学年に応じて、学会費の減免を受ける。

	正会員
第2学年次に編入	6,000円
第3学年次に編入	4,000円

第4条 〈改正〉

この規定の改廃は、学生・教員連絡会の審議を経て、総会にて行う。

〈付則〉

1. 本会則は

平成30年5月16日 制定
令和6年5月14日 一部改正

2. 本規程を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。